

保証請求処理を迅速化



インターシステムズで保証請求の遅延を解消

効果:

- 運転資金の確保
- 人件費の削減
- 償還の迅速化
- 製品リコールに対し先手を打つ

保証請求処理が遅れる原因は、手作業による評価プロセスにあります。顧客からのクレームデータは、変換や正規化が必要であり、検証のために工場側の品質データ（是正措置の実施日など）を収集するのに時間もかかります。その他の原因としては、複雑な手作業によるワークフロー、手動でのデータ入力やファイルアップロード、統合が必要な異種データシステムなどが挙げられます。通常、顧客からの最初のクレームを受領してから問題解決の対応が開始されるまでには数週間を要しますが、その時間は本来、問題解決や将来のクレーム防止に充てられるべきものです。

InterSystems Supply Chain Orchestrator™は、サプライチェーンの問題を解決するために構築された、AI搭載のサプライチェーン意思決定インテリジェンスプラットフォームです。このプラットフォームは、既存のインフラストラクチャを補完し、業務に支障をきたさない形で、予測分析および処方的分析機能を内蔵したリアルタイムの「接続基盤」を提供することで、分散したデータソースを統合します。

InterSystems Data Studio™は、統合されたタイムリーなデータを提供し、サプライチェーン担当者がより迅速かつ適切な意思決定を行えるよう支援します。このローコードのセルフサービス型データゲートウェイにより、分散したデータの統合、調和、正規化が迅速かつ簡便に行え、適切なタイミングで適切な形式で、必要なユーザーやアプリケーションにデータを配信することが可能になります。

保証請求の効率化が重要な理由

保証請求手続きの効率化は、サプライチェーンから業務運営に至るまで、ビジネスの多方面に大きな影響を与えます。プロセスの効率化によるメリットは、財務指標と顧客サービス指標の両方に表れます。

しかし保証請求手続きの効率化は、言うは易く行うは難しです。プロセスの効率化を妨げる重大なデータ上の課題が存在します。これにはデータの遅延、不統一、欠落・不完全さ、非構造化テキストデータ、データ品質の問題等が含まれます。さらに自動車メーカーが保証請求過程において直面する課題には、車両技術の複雑化、部品の信頼性・使用状況・環境要因の変化、サプライヤー間の不統一、規制の変更などが挙げられます。

InterSystems Supply Chain Orchestratorは、様々なデータソースを統合し、統一的で正確なデータを提供することで、保証引当金の算定プロセスを最適化します。InterSystems Data Studioは、フロントエンドのデータゲートウェイとして機能し、データを整合させてSupply Chain Orchestratorに取り込みます。これらの相互に補完し合うテクノロジーにより、サプライヤーネットワーク全体でのデータ統合、整合、共有がより迅速に行えるようになります。

おもなビジネス価値

運転資金を解放：請求が未決済のまま長引けば長引くほど、資金が売掛金に拘束される期間が長くなります。

人件費の削減：請求処理が遅れると、その管理に従業員の時間を割く必要が生じ、人件費が増加します。

支払いの迅速化：請求処理が遅れると、メーカーとサービスプロバイダーの双方で、修理費や部品代の支払いが遅れることになります。

製品リコールに先手を打つ：保証関連データの遅れにより、メーカーは重大な問題に先手を打つことができず、それが製品や部品の全世界的なリコールにつながる恐れがあります。

インターシステムズが選ばれる理由

インターシステムズは、45年以上にわたり、企業がデータから価値を引き出すことを、迅速かつ安全に大規模に支援してきました。当社のAI搭載サプライチェーン意思決定インテリジェンスプラットフォームは、混乱が発生する前に予測し、実際に発生した際には最適な対応を行うため、予期せぬ事態にも自信を持って対処できるようになります。このプラットフォームには、分散したデータソースを統合するリアルタイムデータゲートウェイと、既存の技術インフラを補完する一連の次世代サプライチェーンソリューションが含まれており、意思決定と価値実現までの時間を短縮し、サプライチェーン全体を通じて効率性を向上させます。

InterSystems supply chain

をご覧ください、貴社のデータ活用の取り組みを、当社がどのようにサポートできるか、是非お話しさせてください。

問い合わせ先

jpcontact@intersystems.com